

東北関東大震災に伴う東京電力管内の輪番停電の実施に伴う  
バックアップ電源の貸し出しについて（概要報告）

国立長寿医療研究センター

3月13日(日)

日本ALS協会愛知県支部から、当センター研究所診療関連機器開発研究室長に、東北関東大震災に伴う東京電力管内の輪番停電に際して、停電時に人工呼吸器を装着している方への対応として、当センターが新規に製作したバックアップ電源装置（以下、本装置）の貸し出し依頼があった。

3月14日(月)

大府市に本装置の搬送のための協力を依頼した。大府市は災害救援物資搬送に合わせて本装置の搬送に協力することとされた。

3月15日(火)

14時 愛知県大府市役所出発

20時頃 日本ALS協会本部（以下、協会本部）到着

- ・本装置の設置方法とスケジュールを確認した。（16日朝の計画停電の情報により最終決定）

《本装置の設置方法》

- ・患者宅へ訪問し、適応可能な機器か判断し、取扱いを説明する。
- ・患者宅へ搬入する地域以外の地域は移動が困難なため、運営委員に取扱説明を行い配布する。
- ・停電時に駆動する機器は、本装置で動作・安全確認を行ったものに限る。

3月16日(水)

10時～12時 埼玉県の患者宅訪問

吸引器及び周辺機器のバックアップ用に設置。既設の呼吸器用バックアップ電源についての相談対応。

14時～17時 東京都の患者宅訪問

呼吸器、吸引器（2種類）、その他周辺機器のバックアップ用に設置。

17時～18時 患者ご家族に説明、本装置の引き渡し。（協会本部にて）

3月17日(木)

午前 協会本部にて  
スケジュール及び今後の活動についての打ち合わせ

14時～16時 東京都の患者宅訪問  
吸引器、その他周辺機器のバックアップ用に設置。

17時～19時 東京都の患者宅訪問  
大規模停電に備え、照明用電源として設置。

3月18日(金)

10時～12時 千葉県支部運営委員へ取扱説明。(協会本部にて)

13時～15時 東京都の患者宅訪問  
呼吸器、吸引器、その他周辺機器のバックアップ用に設置。